

## 第3章 情報共有技術の活用と地域住民・自治体の協働による地域防災訓練

### 3.1 はじめに

### 3.2 平成17年度予備実験

#### 3.2.1 実験概要

#### 3.2.2 地域住民による被害情報等収集実験

#### 3.2.3 ICTを活用した被害情報収集実験

#### 3.2.4 ICTを活用した被害情報伝達実験

#### 3.2.5 災害対策本部での被害情報の集約・利活用実験

平成17年度予備実験資料編

### 3.3 平成18年度実証実験

#### 3.3.1 実験目的

#### 3.3.2 実証実験参画研究機関

#### 3.3.3 検証課題

#### 3.3.4 実証実験の実施

#### 3.3.5 実験結果の検証

平成18年度実証実験資料編

## 第3章 情報共有技術の活用と地域住民・自治体の協働による地域防災訓練

### 3.1 はじめに

2章で述べたように、平成17年度は飽海町と東田町西脇二区、平成18年度は山田町と山田石塚町にて、様々な情報共有技術を活用した防災ワークショップを開催しつつ、地域住民の防災意識向上と地域住民・自治体の協働体制づくりを進めた。

3章では、平成17年度・18年度に上記の地域を対象として地域防災訓練を実施し、情報共有技術の活用と地域住民・自治体の協働により、速やかに被害情報収集・初期消火・救援救護・安否確認などの地域の減災対応を可能とする仕組みの構築およびその減災効果の検証を行った。平成17年度予備実験と平成18年度実証実験の概要は以下の通りである。

#### (1) 平成17年度予備実験

実施日時：平成17年11月20日（日）9：00～12：00

実施場所：飽海町，東田町西脇二区，豊城地区市民館（避難所：飽海町・東田町西脇二区），山田町，山田石塚町，豊橋市役所，栄小学校（避難所：山田町・山田石塚町，（仮）市災害対策本部）

実施内容：地域住民による各種防災訓練，ICTを活用した被害情報収集・伝達実験，災害対策本部での被害情報の集約・利活用実験，アウトリーチ活動など

協力者等：飽海町・東田町西脇二区住民（40名），山田町・山田石塚町住民（165名），市都市計画課・防災対策課

参加機関：工学院大（実験責任機関），消防研，豊橋技科大，東大関沢研，安全・安心マイプラン，産総研，防災科技研，東大竹内研，建研

#### (2) 平成18年度実証実験

実施日時：平成18年11月12日（日）8：30～12：00

実施場所：飽海町，東田町西脇二区，八町校区市民館（避難所：飽海町・東田町西脇二区，校区活動拠点），山田町，山田石塚町，山田公民館（一時避難所：山田町・山田石塚町），豊橋市役所，栄小学校（避難所：山田町・山田石塚町，校区活動拠点，（仮）市災害対策本部），町畑町，南栄町

実施内容：地域住民による各種防災訓練，地域住民と自治体との協働による情報収集・伝達，災害対策本部支援，地域住民への情報提示

協力者等：飽海町・東田町西脇二区住民（73名），山田町・山田石塚町住民（153名），市防災対策課・都市計画課

参加機関：工学院大（実験責任機関），消防庁（旧消防研），豊橋技科大，東大関沢研，安全・安心マイプラン，産総研，防災科技研，建研